

公益社団法人 地盤工学会

平成25年度 第2回

出版企画委員会

議事録

日時：平成25年6月7日（金）14：00～17：00			会場：地盤工学会地階A会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹事 橘 伸也	○
幹事 仲山 貴司	○	委員 福村 一成	×	委員 森口 周二	○
委員 杉本 映湖	○	委員 中井 宏	×	委員 小川 和也	×
委員 森 淳子	×	委員 渡邊 康司	○	委員 富田 陽子	○
委員 梶取 真一	○	委員 金澤 伸一	×	委員 川久保 昌平	○
委員 持田 文弘	×	ワザバー 李 圭太	×	ワザバー 清木 隆文	○
ワザバー 川井 康右	×			事務局 内藤 千愛	○

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)
  - ・森口委員が指名された。
2. 前回議事録(4/11)の確認……(別紙-2)
  - ・重要事項の確認があり、議事録の内容について承認された。
3. 前回公益出版部会(5/10)報告……(別紙-3)
  - ・公益出版に関する科研費の申請が不採択であった。経費削減の努力が増々重要な状況である。
4. 理事会(4/24・5/13)報告……(別紙-4)
  - ・新たに事業企画戦略室が設置される。室長は大原理事。
5. 公益出版部(出版)関係収支報告……(別紙-5)
  - ・新刊本2冊の売れ行きが好調であり、販売部数は良好である。
  - ・基準部関係の出版物とそれ以外の書籍(出版企画関係)の売り上げと販売部数のグラフが示された。売り上げのうち、基準部関係の割合が多く見えるが、基準部関係のものは1冊あたりの単価が高いという理由があり、それ以外の書籍の販売部数が少ないという訳ではない。
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況……(別紙-6)
  - ・「河川構造物の調査・設計から施工まで」「落石対策工の設計法と計算例」「土と基礎の設計計算演習」については概ね順調に進んでいる。
  - ・「建設計画と地形・地質」については、近日中に編集準備会を開催する予定である。
  - ・「現場における地盤調査法の基本」については、当初昨年度の出版予定だったが、出版時期を延期した経緯がある。印刷代については、昨年度の予算に含まれる。延期後は順調に進んでおり、地盤工学会のキャラクターであるDr.モグの挿絵などを入れる予定である。Dr.モグの使用は広報委員会で承認済みである。
  - ・「杭基礎のトラブルとその対策」については、出版時期延期の要請があった(詳しくは審議事項の5を参照)。
  - ・「地盤に関する解析技術(個別要素法)」については、土木学会との調整を行った結果が報告された。地盤工学会と土木学会の共同出版(地盤工学会が編集作業を担当する)に向けて土木学会が提示した条件は以下のとおりであり、この条件に応じるかどうかについては部会で審議することになった。
    - 著作権使用料として、初版印刷時にその部数の10%、増刷分については実売の部数の10%を要求する(ただし、今後の協議で割合低減や放棄の可能性はないわけではない)。
    - 買い取り価格は定価の7割とする。
    - 買い取り部数は土木学会が決定する。買い取りノルマを設定しない。
    - 会員価格は定価の9割に揃える。(通常、土木学会は9割、地盤工学会は7割)
    - 著者は地盤工学会と土木学会の両学会とし、関連する委員会の情報等については書籍の内部に記す。
7. その他(技術普及委員会(4/25)報告)……(別紙-7)(添付資料-1)
  - ・いさぼうネットと情報掲載契約をした。新刊本のチラシが既にいさぼうネットに掲載されている。

《審議事項》

1. 翻訳本契約について……(別紙-8)
  - ・韓国側より、書籍内の誤りを指摘されたため、書籍の編集委員長に確認して正誤表を作成して対応した。
  - ・韓国側より、体裁の変更、図の追加、加筆についての可否の確認があった。これについては覚書を作成し、

該当部分をリスト化するように依頼した。

- ・図表等の著作権については、本来であれば著作権の所有者に再度確認をとるべきであるが、実際に達成するのは容易ではない。将来的に著作権等に関するトラブルが発生した場合には、韓国側に賠償責任を負うことになっている。手間軽減とリスク軽減のどちらを重視するかは韓国サイドに委ねる。
  - ・著作権使用料は7%とする。
2. 書籍「おわびと訂正」に関する細則について……(別紙-9)
    - ・出版した書籍の内容に関する誤りの指摘があった場合に、スムーズな対応を行うための対応の手順等を定めた細目の案が示された。手順をよりわかりやすくするために、全体の流れを示した図を追加することになった。文章等については承認とし、制定日は本日 (H25.6.7) とする。
  3. 編集マニュアル策定の提案について……(別紙-10)
    - ・出版作業の内容や手順のマニュアルの作成が提案され、承認された。今後、出版企画WGで作業を進める。
  4. OCNマイポケット活用の提案について……(別紙-11)
    - ・OCNマイポケットを利用したネット上での委員会資料の管理が提案された。メリットとして、欠席者への紙資料の配布作業などがなくなり経費削減につながる、過去の資料をネット上でいつでもダウンロードできる、将来的には委員会資料のペーパーレス化にもつながる可能性がある、などがある。
    - ・月額使用料が315円で、32GBの容量が使える。
    - ・導入する方向で検討する。既に使用している委員会もあるため、情報を収集する(事務局対応)。
  5. 編集委員会の期間延長願いについて(杭基礎トラブル)……(別紙-12)
    - ・書籍内容の充実を目的としてアンケートを実施したが、結果の整理などに時間を要しており、出版予定時期を当初のH26.3からH26.9へ6ヶ月延期したいとの申し出が編集委員会よりあった。
    - ・印刷費が本年度予算での対応の予定であったため、延期に伴って未払い計上の必要性が出てくる。
    - ・印刷費を来年度予算で支払うことが可能かどうかを確認する(事務局対応)。
    - ・編集委員会には、未払い計上の話を含めて説明し、早めの出版を要請する(梶取委員対応)。
  6. 増刷本の冊数について……(別紙-13)
    - ・以下の書籍(増刷判定済み)について増刷部数を決定した。
      - 「設計用地盤定数の決め方-土質編」 300部
      - 「君ならどうする?倫理問題事例集」 400部 or 500部 (見積りをとって予算を考慮して決定する)  
→メール審議にて500部に決定。
      - 「N値とC・φの活用法」 300部
    - ・以下の書籍について増刷判定の担当者を決定した。
      - 「設計用地盤定数の決め方-岩盤編」 渡邊委員
      - 「環境地盤工学入門」 橋幹事
      - 「斜面の安定・解析入門」 森口委員
      - 「地盤調査・土質試験結果の解釈と適用例」 金澤委員
  7. 刊行物販売促進策について……(当日資料)
    - ・「地盤改良の調査・設計と施工」のチラシが示された。
    - ・今後出版する書籍については、編集委員会にチラシの作成を依頼する。
    - ・これまでに出版した書籍については、出版企画委員会でチラシを作成し、編集委員長の確認をとる。
    - ・講習会などの情報を入れることは重要ではあるが、講習会終了後にチラシの一部修正が必要であり、管理する人間が必要である。
  8. 25年度の委員構成について……(添付資料-2)
    - ・荒瀬委員長の退任に伴い、橋幹事の委員長就任が提案され、承認された。楡井幹事長は引き続き留任する。
    - ・これまで橋幹事が担当していた出版企画WGの幹事は、渡邊委員が引き継ぐことになった。
    - ・仲山幹事の退任に伴って、杉本委員が販売促進WGの幹事を引き継ぐことになった。
    - ・上記の修正と各委員の担当WGの情報を追加したメンバーリストを後日送付する(事務局対応)。
  9. その他(会館1階本棚について)
    - ・会館1階本棚に陳列されている書籍は販売用であるが、閲覧やコピーなどにより、折目や汚れが目立っている状況である。そのため、今後は見本版を設置してはどうかという提案があり、承認された。